



# MORIOKA YMCA NEWS

## 盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2016年10月号



発行人：濱塚有史 編集人：君塚彩 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1  
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

## 「盛岡にもこんな居場所が」

松坂 実香（リーダーOG：食ぱんリーダー）

社会に出て6年目の食ぱんです。YMCAを初めて知ったのは短大のときです。小学生の頃、小さいこどもと遊ぶのが好きだった私は、短い学生生活で私にも何かできたらなと思いつくことにしました。

「こんにちは」ぶらわのドアを開けると、初めて会う私にも、子どもたちは笑顔で「こんにちは」と答えてくれました。それがとてもうれしかったのを覚えています。YMCAにいるみんながとてもキラキラして見えました。盛岡の真ん中にこんなにも自由で楽しい場所があるのだと驚きました。私は、同級生たった12人の小さな田舎の小学校で育ったので、いくつかの小学校の子どもたちが集まってみんな楽しく遊ぶということが新鮮だったのかもしれない。

ぶらわに通い始め、翌月には一泊アドベンチャーに行きました。仲良くなるともっとこの子について知りたい！仲良くなりたいたい！と思うようになり、その後も、サッカースクール、キャンプ、水泳、サンデーなどたくさんの活動に参加しました。いつしか、最初に来ることに決めた「何かをしてあげたい」という思いから、単純に「子どもたちと思いきり夢中になって遊ぶことが楽しい」に

変わっていました。

キャンプでは朝から服のまま海に投げられたり、スクールでは顔に落書きされたり、「もう。」となんだかんだ文句をいいながら、無邪気に笑う子どもたちの笑顔を見ると「やった！」と思ってしまう自分もいました。どうしても、後先考えて無難な道を選んでしまいましたが、遊ぶ時は思いきり遊ぶ楽しさを知ることができました。

普通に学生生活を送っていたら経験できないことが、YMCAでたくさん経験できました。ある人が「出会いと経験の数だけ人は豊かになれる」と言っていたのですが、YMCAでは、本当にたくさんの出会いと、経験があります。社会に出た今、やることのできない活動の情報を知るたびに、参加できるリーダーと子どもたちをとっても羨ましく思っています。子どものときに行っていたら、もっと楽しい学校生活を送れたらと思うかもしれません。もし将来、私にも子どもができれば、YMCAの活動に行かせてあげたいな。YMCAの今後の活動と、益々のご活躍を楽しみにしています。



# ♪お泊まり会 in 前潟センター♪

ぶらいむ・たいむ前潟校では、今年もお泊まり会を行いました！普段は昼間しか会えないお友だちとお泊りする、ドキドキワクワクの一泊二日。今年ほど  
んな思い出が生まれたのでしょうか？参加したスタッフ・リーダーより、レポートが届いています！



「ギャー！」「わたしもやる〜！」「わははははっ」前潟校に2日間、子ども達の声が響きわたりました。

9月3日（土）～4日（日）、ぶらいむ・たいむ前潟校では、お泊まり会を行いました。前潟校のお泊まり会は今年で3回目となります。参加した29名の子ども達の中には、初めて参加する子もいれば、3年連続して参加する子も数多くおり、「リピーター」が多い事が特徴です。

初日は「フリータイム」からスタート。ウォーミングアップのつもりで設けているフリータイムですが、子ども達はスタートからエンジン全開。トップギアで遊ぶ子ども達に負けじと、スタッフ・リーダーも全力です。そして、今回のお泊まり会では、初めての試みが行われました。

「バーベキュー」です。過去2回、夕飯は自分たちで作っていましたが、違う楽しみ方を体験してほしいと思い、「バーベキュー」を夕飯にしてみました。さっきまで、みんなあんなにはしゃいでいた事もあり、おとなしく食べるかなと思われましたが…お祭りです。宴です。大人顔負けの大宴会が始まりました。一発芸をする子や、アンケート大会、リーダーによる「あいうえお作文」で笑いが絶えない夕飯となり、その後も、勢いはそのままに、毎年恒例の「大花火大会」、「お風呂タイム」と楽しい時間はあっという間に、過ぎていきました。2日目朝の子ども達の目覚めは…早いです。朝早くから「クスクス」と静かな笑い声があちらこちらから。「朝の集い」で軽く体を動かした後の朝食は「うどん」と前潟校の畑で採れた「かぼちゃ煮」です。前潟校は普段、おやつでも畑で採れたミニトマトやとうもろこしが出てくる位、自然にも恵まれている事も前潟校の特徴です。朝食後は、全員で寝具の片付けを行

い、昼食作りのプログラムへと続いていきます。昼食の「サンドイッチ」作りは、グループの話し合いで、どんな食材を取り入れ、どんなサンドイッチにするかを決め、全員で近くのショッピングセンターでお買い物をし、思い通りのサンドイッチをつくり、食べるという流れで進んでいきます。前潟校の子ども達は、何度かみんなで買い物をすることもあり、店舗内でのルールをよくわかっていました。行儀よくまでとはいかなくても、他のお客さんの迷惑にならないようにする事や、グループから離れ、勝手な行動はしない事など、「人」としてあたりまえの行動が自分たちで考えてできるようになってきました。最後のフリータイムでは、公園でサッカーしたり、センター内でマジックショーをしたりと、思い思いの遊びで盛り上がり2日間のお泊まり会が終了しました。

普段一緒に生活しているメンバーとご飯を食べたり、夜の公園で遊んだり、お風呂に入り、一緒に寝る。このような時間はとても貴重で、子ども達も心から楽しんでいる姿が見られました。実際、お泊まり会をきっかけに、自分の「殻」を破る子もいます。相手を「観る・知る」、そして、自分を「観てもらう・知ってもらう」という、これからの子ども達に、とても必要な事がこのお泊まり会で体験できるということは、私達にとっても有意義なプログラムだと感じております。前潟校は自然とも触れ合えるとても良い環境にあります。自然を慈しみ、仲間を想い合い、笑いあい、共に歩んでいける様に、私達スタッフは、これからも前向きに進んでいきます。

前潟センター 副センター長 東森 聡（たもりリーダー）



↑花火大会では、子どももリーダーも大はしゃぎ！



↑みんなと一緒にだと、寝室すら楽しいお部屋に！



↑楽しいお泊まり会でも、しっかり歯はみがきます。



↑2日目の昼食、サンドイッチを作っているところ。



↑リーダーと一緒に、決めポーズ！！

## 参加リーダー・スタッフより♪



今回で3回目のお泊まり会でしたが、子どもたちのテンションがすごく、夕ご飯のBBQでの子どもたちの食べっぷりにびっくりし、一発芸もすごく盛り上がり、就寝時間までのテンションもすごく感じました。朝も早く起きる子どもたちにさすがと感じ、解散するまでの時間が早く、いつも一緒にいる子どもたちだけ寂しく感じました。楽しかった2日間のお泊まり会に参加でき、子どもたちの笑顔を見られてよかったです。  
前潟センタースタッフ 小笠原 真紀子（マキリーダー）



みんなと外から二階に寝袋や毛布をバケツリレーで運んだり、公園でけいどうろをして思いっきり走ったり、すごく楽しかったです！花火やお風呂、寝袋で寝たり…お泊まり会ならではの思い出もたくさんできました！また、パワフルな前潟のみんなに会いに行きます♪  
岩手看護短期大学2年 鬼柳 琴（マックリーダー）



6年生が中心となって生活している様子や、就寝時間ぎりぎりまで遊んでいる姿など、お泊まり会ならではの子どもたちの姿を見ることができました。子どもたちと今までの活動にはなかった関わり方ができた楽しい2日間となりました。  
岩手県立大学1年 星 亮太郎（カービィリーダー）



プログラムが盛りだくさんで、子どももリーダーも最高の笑顔で楽しんでいました。来年も是非参加させていただきたいです。前潟のスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。  
本町センタースタッフ 中村 圭一（ソニックリーダー）



今回、初めて学童のお泊まり会に参加しました。ひとりひとりが楽しいだけでなく、お互いを思いやって行動することで、みんなで楽しむお泊まり会になったように思います。夕食のバーベキューも、夜の花火も、次の日のサンドイッチ作りも、その他の遊びも、みんなでやると特別な思い出になるんだなーと教えてもらった1泊2日でした。  
岩手県立大学1年 早坂 知美（チョコリーダー）



皆さんこんにちは！ダイラーです！私は今回初めて前潟ぶらいむのお泊まり会に参加しました。前潟ぶらいむにお邪魔するのは初めてなのですが、前潟っすごい！というのがお泊まり会での印象です。前潟っすは、布団を片付けたりお金の管理をしたりするなど自派的に行動していてとっても感動しました！ぶらいむに入った時の手厚い歓迎もとってもステキです☆皆さんも是非、前潟ぶらいむに遊びに行ってみてください！  
岩手県立大学2年 松平 大知（ダイラーリーダー）



こんにちは！お泊り会で人気NO.1だったあさりです！お泊り会では、布団でぐちゃぐちゃになって遊んだり、今まで食べたことのないサンドイッチを食べたりなど、前潟学童の元気でパワフルなみなさんと過ごした2日間がとても楽しかったです！また一緒に遊べることを楽しみにしています♪  
盛岡大学4年 安久津 里彩（あさりリーダー）

## 台風10号被災地復興支援活動について

8月30日に岩手県に上陸した台風10号により、宮古市も大きな被害を受けました。盛岡YMCAは8月31日に現地入りし、学生リーダーや様々な地域から来られるボランティアの皆さんと共に、家屋や店舗の泥出しや清掃の活動を行っています。

今回の台風で被害を受けた場所の多くは、かつて津波の被害を受けた場所でもあります。地元ボランティアの方のお話では、「震災から5年経って来たのに、また……」という思いを抱えている方も少なくないとのことでした。

盛岡YMCAでは、今後も支援活動を継続し、宮古市に寄り添い続けていきたいと考えています。活動を継続していくため、引き続き皆様からの募金の受付を行っております。盛岡YMCAの復興支援活動をご支援くださる方は、郵便払込取扱票に必要事項をご記入のうえ下記の郵便口座にお振込みいただくか、最寄りのYMCAまでお持ちください。

口座番号 02290-9-54655

加入者名 盛岡YMCA

(通信欄に「東日本大震災YMCA復興救援募金」と明記ください)

どうか、あたたかなご支援をよろしくお願いいたします。

### 支援活動のようす



↑ 床をバールで剥がし、泥を除去し消石灰を蒔くという作業を行いました。



↑ 化粧品店の床清掃、ワックスかけ。だいぶキレイになりました。



↑ 生花店にて、泥をかぶってしまった鉢などの清掃。学生たちが明るい笑顔でがんばってくれました！



↑ 屋内に入り込んでしまった泥を洗い流しています。このあたりが明るい笑顔でがんばると、水はワイパーなどで掻き出しました。

今回のボランティア活動には、盛岡YMCAのインターン生2名も参加してくれました。二人より、コメントが届いています。



台風10号の被災支援で、泥だらけの宮古の現状を見た時、いつもの街並みとの差に言葉が出ませんでした。実際に側溝や庭に溜まった泥をかきだしながら、もしこれが実家だったらと考えました。でも想像がつかませんでした…。震災に次ぎ台風の被害も被ることは現地の方々にとって心苦しい出来事だと思います。今回の私たちの支援は少しの力にしかならなかったかもしれませんが、お手伝いしたお宅からかけられた感謝の言葉に救われました。今後もできる限りの支援を行っていきたくと思います。

岩手県立大学4年 川口 奈恵 (チョップリーダー)



台風によって多くの被害を受けた地元宮古の姿を見た時は言葉も出ませんでした。川は荒れ、建物の中まで浸水し、道路はゴミの山で溢れていました。東日本大震災からの復興へ向かう中で襲った今回の天災。しかしボランティアで出会った地元の方々は、決して私たちの前で弱音を見せることなく、一步一步前へ進んでいるように見えました。地元から離れている自分にできることは何なのか、少しでも地元の力になれるよう1日1日考えていきたいと思っています。

岩手大学3年 大藤 百華 (ピーちゃんリーダー)

## もりおかワイズメンズクラブ 10周年記念式典開催！！

盛岡YMCAの活動をいつも支えてくださる、「もりおかワイズメンズクラブ」という団体があります。このたび、「もりおかワイズメンズクラブ」の設立10周年を記念し、9月17日に、「ホテルメトロポリタン盛岡」にて、式典を開催いたしました。

ワイズメンズクラブとは、1922年に Paul William Alexander 氏によって米国オハイオ州に誕生した、あらゆる人々が違いを越え、YMCAとともに奉仕活動を行う団体です。日本では1932年6月に日本区が設立され、84年の歴史を誇っています。1997年に、日本区は東日本区と西日本区の2区に分かれ、それぞれにワイズメン活動を行うこととなりました。もりおかワイズメンズクラブは、東日本区に所属しています。



き受けてくれました。

当日は、今までのもりおかワイズメンズクラブの活動をまとめた10周年誌も配布され、10年にわたるもりおかワイズメンズクラブの働きの大きさを噛みしめる一日となりました。これからも共に発展してゆけるよう、盛岡YMCAも日々明るく活動してゆきたいと思っています。

もりおかワイズメンズクラブは、被災地復興支援活動や国際協力募金活動、またリーダー育成のための活動など、多くの面で盛岡YMCAの活動をサポートしてくださっています。それに加え、例会にリーダーを招いて様々なお話をお聞かせくださったり、そば打ち体験にリーダー達をお招きくださったり…と、もりおかワイズメンズクラブの皆さんは学生リーダーたちとも多くの交流があります。今回の式典開催にあたり、リーダー達に協力を呼び掛けたところ、多くのリーダーたちが、快く会場内のボランティアを引



## ☆リーダー紹介コーナー☆

みなさん、こんにちは！う〜〜…マンボー！！盛岡大学児童教育学科2年のマンボーこと佐藤妃奈です。この夏、マンボーは島のキャンプに行ったり、アドベンチャーで沢登りをしたりととても充実した夏を過ごしました！

そんなマンボーが今回紹介するリーダーは、ぬりかべです！ぬりかべは私と同じ盛岡大学児童教育学科2年で、本名を佐藤唯衣といいます。ぬりかべのリーダー名は、お化粧品をして、ファンデーションを顔に塗りまくっていることからきています。キャンプにもなれば、塗る暇がないため、ただの「かべ」になってしまうこともしばしば…。

実は、マンボーとぬりかべはとっても仲良し♪学校ではいつも一緒にいるし、ぬりかべの家に泊まりに行くことだってあります。また、授業中によく寝るコンビでもあります(悪い子だ)。

ぬりかべは、パツと見、髪が明るくて怖そうに見えますが、そんなことはありません。良く言えば、無邪気。悪く言えば、バカ…おっと失礼。とにかくよく笑ひ、子どもに寄り添うことのできるリーダーです。そんなぬりかべのことをマンボーは羨ましく思ったり…。

とにかく！これからもぬりかべ・マンボーコンビをよろしくお願ひします！！ご清覧ありがとうございました。

左がマンボーリーダー、右がぬりかべリーダー。



# 10月の予定

- ★10月8日(土)～10日(月)  
日本YMCA大会
- ★10月18日(火)  
火曜水泳休講
- ★10月22日(土)  
盛岡YMCA設立記念日
- ★10月22日(土)  
森のようちえん  
「焼き芋たべよう♪ほくほくキッズ☆」  
(於：外山森林公園)
- ★10月23日(日)  
サンデースクール  
「スイートポテト作り」  
(於：仙北地区活動センター)
- ★10月29日(土)  
本町スクール休講
- ★10月30日(日)  
アドベンチャークラブ  
「焼き芋！芋煮！秋を感じよう♪」  
(於：つどいの森)

## バザーを行いました☆

盛岡YMCA向中野センターでは、9月19日にチャリティバザーを開催しました。向中野センターにてバザーを行うのは今回で3回目となりますが、年々充実した活動となってきました。

今回のバザーの収入は71,304円、支出が40,417円で、益金は30,887円となりました。この益金は、4月の大地震により被災した熊本YMCAに送られ、再建のために役立てられます。

当日来場してくださった皆様、提供品を下さった皆様、今回のバザーに携わったすべての皆様、本当にありがとうございました。



当日は、ぶらりむたいむ向中野校に通う子どもたちがたくさんお手伝いしてくれました！



→こんなお楽しみコーナーもありました！

## 表紙の写真から



前潟センターでのお泊まり会より。みんな仲良し！



君でいいんだよ

～JUST THE WAY "YOU" ARE 28～

## 「再び、感じる心について」

「なにごとの おぼしますかは 知らねども かと じけなさに 涙こぼるる」

西行

20年以上も前のこと、仙台YMCA国際ホテル専門学校で学生を引率してヨーロッパの各地を訪問したことがある。ある日、パリのルーブル美術館を何名かの学生と見学にいった。ルーブルは広くて迷子になりそうだった。有名な「ミロのヴィーナス」や「モナリザ」も見たが、思い出に残るのは、階段の踊り場に無造作に陳列されてあった「サマトリケのニケ」だ。顔も腕もない彫像だが、3メートルを超える翼をいっぱい広げた姿は圧倒的な存在感を放っていた。



隣を見るといっしょに来た学生が涙を流していた。「えっ。なんだろう？ なんだか知らない

いけど涙が溢れてくる。」と言って「ニケ」を仰ぎ、涙を流して鼻をグジュグジュさせている。ちなみに彼は、学校一の遊び人だったが、普段は見せない意外な一面を見せてくれた。僕は、2000年以上の時を超えて青年の心を捉えた芸術の力を目の当たりにして、いったい教育とは何なのか自問自答したことを覚えている。

さて、冒頭の歌は平安時代末期から鎌倉時代にかけて活躍した西行の作だ。真言宗の僧侶でもあった西行が伊勢神宮をお参りした時に詠んだとされている。「どんな神様が、どんなまつりごとをしているかわからないがありがたさに涙だけは溢れてきた」という意味だ。

M君にしても西行にしても、ものごとの本質を素直に受け止めるとうれやない心があればこそ感じることでかたに達しない。「沈黙の春」で有名なレイチェル・カーソンは、「センス・オブ・ワンダー」の中で次のように言っている。「『知る』ことは『感じる』ことの半分も重要でないと固く信じています。」

「神の受けられるいけにえは砕けた魂です。神よ、あなたは砕けた悔いた心をかろしめられませんか。」(口語訳聖書 旧約 詩篇 51 篇：17節)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

## インドでゴリナも考えた。⑦

ゴリナリーダーによるインドコラムも7回目となりました。今回はどんなお話でしょうか…？



今回はインドの『チャイ』について！私の大好物となった『チャイ』…『チャイ』は、インドの人たちにとって毎日の生活に欠かせない飲み物で、どこにいても売っている、日本でいうとお茶

のようなもの。

そんなチャイは、スパイスが入った煮出しミルクティーのような味わいで、砂糖の量が多く、とって甘い。時々日本の『午後の紅茶』のようなチャイが出てくることも…。

チャイは私たちの旅にいつも和みをくれたが、案内をしてくれたスレッシュのお母さんが作って

くれるチャイの味は格別だった。また、チャイの作り方を教わり、日本でも作ることができるようになった。ぜひお試しあれ！

<チャイの作り方>

1. 水を鍋に入れ、沸騰させる
2. 沸騰したところに紅茶の葉っぱを入れ、鍋のまま弱火で数分間煮出す  
※2の前にお好みでスパイス(ガラモンなど)を！
3. 煮出した後、ミルクを入れる。

ミルクを入れると一旦温度が下がるが、そのまま火にかけ、沸騰する直前に火を止め、できあがり☆

岩手大学4年 武田 悠(ゴリナリーダー)

## 感謝

(2016年度9月28日現在)

五十音順・敬称略

### ●維持会費

浅沼慧、有我啓作、飯島隆輔、家村知佳、池田二郎、一戸貞文、伊藤克見、伊藤真一郎、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤みどり、井上浩太郎、井上修三、井上優子、魚住英昭、鶴丹谷三千代、遠藤昌樹、及川忠人、大関靖二、岡田虎治、尾形裕一郎、小川明佑、小川嘉文、小澤聡、レナード、押切梓、小畑孝子、小山憲彦、川坂保宏、神田橋慧一、菊地弘生、北田アユ子、君塚彩、工藤あさひ、熊谷圭祐、熊谷映希、熊谷力實、昆野香代子、今野聖子、今野健男、斉藤恒夫、佐藤翔、清水治彦、杉田弘美、高瀬悠彦、立花尽、長岡和義、名古屋恒彦、南原良哉、花田瞳、濱塚有史、大瀧直樹、濱塚牧人、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、林辰也、原寛、人見晃弘、松尾聡子、増田隆、水田賢次、光永尚生、守下昌輝、森山日菜乃、森山幹大

### ●寄附金

池田二郎、伊藤克見、遠藤昌樹、熊谷圭祐、熊谷紗希、熊谷力實、昆野香代子、佐藤翔、高瀬悠彦、南原良哉、早坂春希、花田瞳、原寛、人見晃弘、光永尚生

### ●東日本大震災被災地支援募金・献品

3・11チャリティコンサート実行委員会、飯島隆輔、大阪YMCA、私立捜真小学校、馬場一郎、日本基督教団城西教会、ワイズメンズクラブ西日本区

### ●熊本地震・YMCA救援・復興募金

家村知佳、石崎真珠、伊藤克見、伊藤真一郎、伊藤真太郎、小畑孝子、北田アユ子、君塚彩、熊谷亜希子、熊谷力實、昆野香代子、昆野瑠紗、清水弘一、菅恵、名古屋恒彦、増田隆、松尾聡子、吉田航平、吉田美波

### ●熊本地震被災YMCA支援募金

浅沼慧、浅沼美希、家村知佳、石崎真珠、伊藤真一郎、伊藤愛美、井上修三、岩井和己、鶴丹谷三千代、遠藤昌輝、大関靖二、小笠原真紀子、尾形裕一郎、小川明佑、小川嘉文、工藤泰、佐々木千賀子、高橋亜也子、滝川波子、立花尽、日本基督教団内丸教会、日本基督教団宮古教会、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、女鹿乃々華、盛岡YMCAリーダー会、もろおかワイズメンズクラブ、四元尚志、吉田飛太郎

